

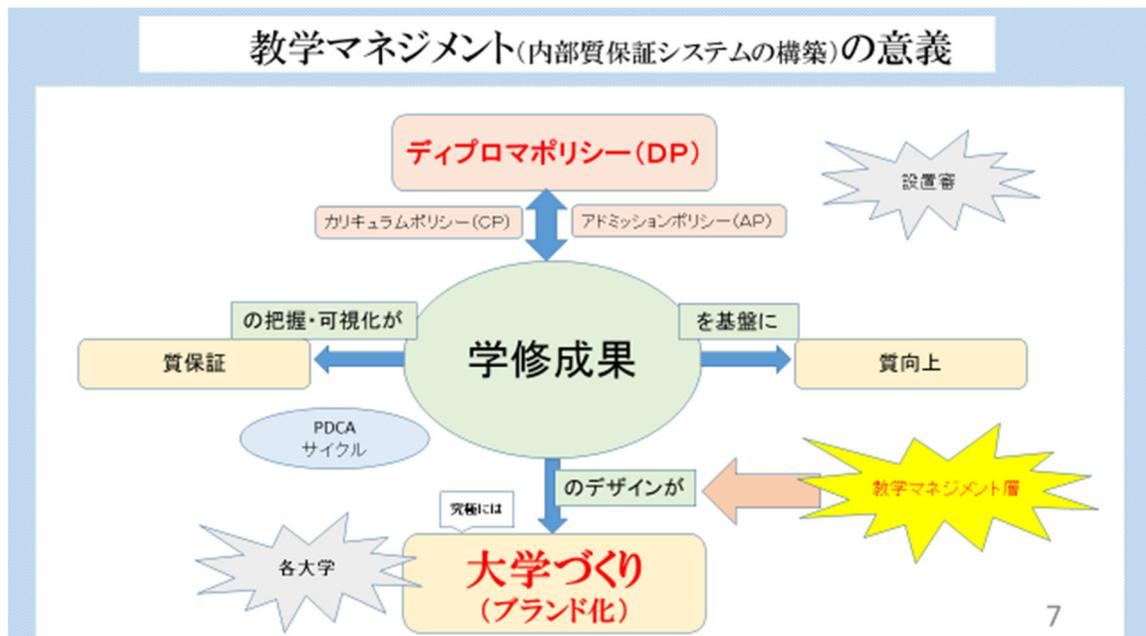
### 第3回「教学マネジメント実践講座」(オンライン開催)

—大学のブランド化を目指して—  
ご案内

#### 開催趣旨

##### ◇求められる内部質保証システムの構築

2020年1月に中央教育審議会から「教学マネジメント指針」が発表されました。すでに義務化された3つのポリシーの実質化を図るために大学の教育成果や学生の学修成果の見える化(可視化)を中核とした内部質保証システムの構築が求められました。その意義は、内部質保証としてのPDCAサイクルの確立を通しての各大学のブランド化であり、そのためには教学マネジメント層のしっかりした大学のデザインづくりが重要な課題となってきます(図参照)。すでにいくつかの大学では教学マネジメントに係る先進的な改革事例を発表していますが、全体的には多くの大学がこれから取り組むべき課題となっています。



##### ◇常に大学改革を先取りする本協会の講座

本協会では、2014年度から大学改革を先取りする形で各種の教員養成講座を企画・実施してきました。まず、教育の質的転換を掲げ学生の学修を変える能動的学修(アクティブラーニング)の推進を目指した2012年の中央教育審議会答申に合わせて2014年度には「能動的学修の教員研修リーダー講座」を開設しています。翌年度には、同講座修了者を対象とした「能動的学修の研究会」(2021年度からはFD教職員実践研究会に改称)を、また2019年度からは中央教育審議会の専門職業大学答申(2016年)に関連させて質の高い実務家教員を養成するねらいで「大学実務家教員養成講座」を実施しています。

今回の講座は、第3弾の養成講座であり、主に大学マネジメント層を対象とし教学マネジメント力を身につけ、それぞれの大学のブランド化を図ることにしました。

## ◇なぜ教学マネジメントが必要か？

先般の「教学マネジメント指針」は、直接的には2018年の中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を受けて策定されたものです。「質」と「多様性」をキーワードとした同答申のうち教育の質向上を内容とした指針となっています。各大学は、内部的には学修者本位の教育の実現を図るための教育改善が求められています。つまり、教学マネジメントの確立です。また、外部的には、社会に対する説明責任を果たしていく教学マネジメントが求められています。

また、今期の中央教育審議会大学分科会では各質保証のための設置基準の根本的見直しや認証評価の機能強化を図るための提言を行いました。設置基準改正に対応した改革や教育の質保証に結びつく教学マネジメントがシステムとして確立した教学運営がより強く求められてきますが、そのためには、とくに学長、副学長、学部長、部課長等の教学運営に関わる者の責任が大きいと言わざるを得ません。本講座は、こうした状況を踏まえ教学マネジメントの幹部層を対象に企画されています。

オンラインによる開催です。奮ってご参加ください。

## プログラム構成

### 1. 講座の目的・対象

本講座は、学修成果・教育成果の可視化及び教育改善のPDCAサイクル（内部質保証）の確立を通して、大学ブランド化のための教学マネジメントを促進させることを目的としています。この目的を達成するために、本講座では、①大学運営の活性化や教育の実践力を高め、新たな大学づくり（ブランド化）を進める上で、②学長をはじめ副学長、学部長・学科長又は部課長等の、③大学の教学運営に責任を負う者に必要な資質・能力・技能を磨く講座と位置づけています。

### 2. プログラムの内容と特色

本講座は、ウィズコロナ時代に対応してすべてオンラインによる実施となります。2日間にわたり、初日には「学修成果・教育成果の可視化に向けて」、二日目は「大学制度の正しい理解と経営・教学改革」と、それぞれテーマを設定して行われます。単なる講義だけではなく、本協会のこれまでの講座で培われた能動的学修（アクティブ・ラーニング）の方法も取り入れ、グループ別の小自由討議やワークショップを可能な限り活用する構成となっています（日程表参照）。

本講座の特色は、次の3点にあります。

- (1) 学内で教学マネジメントを進める責任者を対象としており、将来の幹部養成にも寄与できる。
- (2) 講義や事例発表のみならず、参加者同士の意見交換や交流を重視したアクティブな学びが体験できる。
- (3) 担当する講師陣は、長年、大学の経営や運営に携わった理事長・学長のほか、高等教育研究の第一線で活躍されている方々である。

## 1日目 テーマ「学修成果・教育成果の可視化に向けて」

タイムテーブル	講義内容	
10:00～10:15	開会挨拶、講座の趣旨説明 「教学マネジメント改革のねらいとは？」	講義
10:15～11:30	「大学の内部質保証システムの構築と学修成果の可視化」	講義
11:30～12:30	グループ小自由討議	演習
12:30～13:30	昼食	
13:30～14:45	「教学マネジメント基盤としてのFD・SD及び教学IRをどのように進めるか？」	講義
15:00～16:30	グループ・ワークショップ テーマ「教学マネジメント改革を効果的に進めるには？」	演習
16:30～17:15	グループ発表	
17:15	閉会	

## 2日目 「大学制度の正しい理解と経営・教学改革」

タイムテーブル	講義内容	
10:00～10:10	開会挨拶、講座の趣旨説明等 「新たな大学改革を目指す！」	講義
10:10～11:30	「大学の基本制度を正しく理解する！」	演習
11:30～12:30	グループ小自由討議	
12:30～13:30	昼食	
13:30～14:45	「大学のブランド化を目指す改革事例 －山梨県立大学の地方創生事業－」（仮）	講義
15:00～16:30	グループ・ワークショップ テーマ「大学のブランド化をどう進めるか？」	演習
16:30～17:15	グループ発表	
17:15	閉会	

## 開催要項

- 日時  
1日目 2023年8月4日(金) 10:00~17:15  
2日目 2023年9月1日(金) 10:00~17:15
- 会場  
＜ホスト会場＞  
一般財団法人 全国大学実務教育協会 電話 03-5226-7288  
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル 2階  
\*なお、運営の一部を外部業者に委託します。
- 講師  
清水 一彦(聖徳大学学長特別補佐・教授、山梨県立大学特任教授)  
小川 勤(静岡福祉大学 教授)ほか  
杉山 歩(山梨県立大学国際政策学部 教授)ほか
- 定員  
30名(最少催行人数:18名)
- 参加費  
2日間参加 8万円  
1日のみ参加 5万円 ※資料代等(消費税込み)
- 修了証  
講座受講者には修了認定証を(1日のみ参加者にも)を交付します。
- 参加申込  
お申込みにつきましては、別紙の **参加申込要項** をご覧ください。  
締切 2023年6月30日(金)
- 問い合わせ  
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル二階  
全国大学実務教育協会 電話:03(5226)7288

## ■参加申込要項

- ①下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、2023年6月30日（金）までにFAXまたはメールでお申し込みください。なお、メールでお申し込みされる場合には下記参加申込書の項目を記載の上、講座専用アドレス宛にご送付ください。
- ②申込書を受け付け後、参加者宛にあらためて手続き方法のご案内書をお送りします。

### 第3回「教学マネジメント実践講座」 【参加申込書】

★ご希望の講座にチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 両日	<input type="checkbox"/> 1日目のみ	<input type="checkbox"/> 2日目のみ
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------

参加者氏名	勤務先	所属（学部・学科等）
ふりがな		
		主な担当分野・領域
<input type="checkbox"/> テキスト送付先    ご住所（1. 勤務先 2. 自宅）		
〒      —		
電話番号		E-mail（必須）
大学教育歴	年	大学教員の方は現在担当している部署（管理職等）と今後の予定
大学管理運営（管理職） 経験 有 無 （○を）	年	

- ※2名以上でご参加の場合は、参加申込書をコピーしてお使いください。
- ※本情報は厳正に管理し、①名簿の作成 ②協会からの文書の送付 ③協会からの問い合わせのみに使用します。
- ※修了認定証の作成に必要となりますので、ご氏名は楷書でご記入をお願いします。

お申込み・お問い合わせ専用メールアドレス    E-mail: kouza@jaucb.gr.jp

締切 2023年6月30日（金）    FAX 03-3263-8633

お申し込み  
お問い合わせ

 一般財団法人 全国大学実務教育協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12

第三東郷パークビル二階

TEL:03-5226-7288 FAX. 03-3263-8633

E-mail : kouza@jaucb.gr.jp